

[活動報告]

部門講演会および その関連行事

11/29-12/1 日本機械学会「技術と社会」部門講演会および その関連行事報告

徳山工業高等専門学校
部門講演会実行委員長 伊藤 尚

天候にも恵まれ、本校を主会場として 3日間の行事が行われた。

☆11/29（金）日本機械学会イブニングセミナー（第166回）

「日本とアメリカにおける倫理観の相違」（講師：小川仁志氏（徳山高専准教授）、周南市徳山保健センター）

部門講演会の開催に伴い、そのプレイベントとして、イブニングセミナー初の地方開催となった。



(写真1 イブニングセミナーにおける和やかなディスカッション光景)



(写真2 講師の小川先生を囲んで懇親会)

小川氏は、日米の倫理観の相違について、従来の功利主義対カント倫理学の図式ではなく、プラグマティズム対形式主義としてとらえるべきではないかと提案。その上で、技術者にとっては、イノベーションを生み出すためのプラグマティズムを基本としつつも、そこに倫理的な歯止めをかけていくという「エシカル・プラグマティズム」が求められると訴えた。その後、懇親会も開催され、参加者による熱心な討論が繰り広げられ、周南大会の前夜祭として大いに盛り上がった。

☆11/30（土）No. 13-67 部門講演会「技術と社会の関連を巡って：過去から未来を訪ねる」（徳山高専）

日本設計工学会との共催により開催された。「技術教育・工学教育」、「機械技術史・工学史」、「設計教育・CAD教育」、「エネルギー教育・環境教育」の4つのオーガナイズドセッション、「中国地方の産業技術と技術史」の特別セッションおよび1つの一般セッションを設け、55件の講演が行われ、76名が参加し、活発な討議が行われた。

特別講演会は以下のテーマで一般市民も対象にして行われた。

○「自動車の軽量化材料/工法の歴史」

マツダ（株） 技術研究所 主幹研究員 杉本幸弘氏

○「日立製作所笠戸事業所における鉄道車両製造の歴史」

（株）日立製作所 笠戸交通システム本部 主任技師 江角昌邦氏



（写真3 講演風景）

講演者の所属先は、それぞれ中国地方を代表する輸送機械の老舗であり、地元産業の中核を担っているといっても過言ではない。「乗り物」製品のサイズに差こそあれ、どちらも省エネ性や快適性を求めて長年、技術革新を続けてきたトップ企業の開発技術者達から、興味深い話題が提供された。なお、特別講演会に先立ち、昼休憩時間中に、TVなどでも有名なマグネ／アルミ製バイオリンおよびチェロのプチ演奏会が開催された。初めて目にするメタル色の

楽器に興味津々であった聴衆は、その独特の音色に聞き入っていた。新幹線先頭車両などの打ち出し加工専門の株式会社山下工業所により製造された珍しい楽器であり、演奏後には山下社長から製造秘話も聞くことができた。わずか20分程のプチ演奏会ではあったが、2人のプロ演奏家および本校学生のピアノ伴奏により、普段は堅い雰囲気のある学術講演会の合間に素晴らしいハーモニーが鑑賞できたのは大きな喜びであった。まさに地元産業の「技術と社会の関連を巡って」にふさわしいアトラクションであった。講演会後の懇親会には35名もの参加があり、さらなる討論や研究者間の交流を深めるのに役立った。



(写真4 マグネシウムバイオリンおよびチェロ演奏会)



(写真5 山下社長によるアルミ楽器の説明)



(写真6 池森部門長の挨拶で始まった懇親会)

☆12/1(日) No. 13-128 見学会「山口県瀬戸内地方の技術史を訪ねて」(株)日立製作所 笠戸事業所および周南市回天記念館)

波静かで無数の島が点在する瀬戸内地方には海運に関わる多くの産業が生まれ、現在では日本の重要な工業地域の一つとなっている。また、明治以降、多くの軍事施設が作られてきた。17名の参加者が、午前中、山口県下松市で新幹線を含め、多くの鉄道車両を製作してきた日立製作所笠戸事業所の車両製造工場や歴史記念館と、午後には、かつて人間魚雷「回天」の操船訓練施設があった大津島を見学した。前日、特別講演された日立製作所江角 主任技師

の案内で、休日にもかかわらず、車両材料の加工や組立工程などを詳細に観察できたのは、機械技術者のみならず、新幹線などの鉄道ファンには、またとない好機であった。午後は瀬戸内海の周南市回天記念館を訪れた。当時の若人が命を賭けて、訓練に実戦にと散っていった、まさに衝撃と感動の説明を松本紀是 館長から伺う機会を得て、「遠い過去から未来を訪ねる」ためにも、大変充実した見学会であった。初冬の瀬戸内海の景色を船上からも堪能しながら帰路につき、ちょうど徳山港に降り立ったとき、パラパラと雨が降り出し、当地で3日2晩の熱い戦いが繰り広げられたことを思い起こしながら、万感の思いを込めて、天の神様に感謝申し上げた。



(写真7 日立製作所笠戸事業所 50年前に日本で初めて名古屋に導入されたモノレール車体前にて)



(写真8 大津島回天記念館 「回天」前)



(写真9 回天発射訓練基地跡にて)



(写真 10 松本紀是 館長の講演)

今回の学会関連行事に対して、熱心に参加頂いた講演発表者などの皆様、地元 周南市の厚いご支援、また、3日間の全イベントに付き合われた、徳山高専の井上直樹校長はじめ教職員や学生の皆様、準備や後片づけを含め、学会運営に熱心にご協力頂いた全ての皆様に厚くお礼申し上げます。最後に、講演会開催の引き受け時から何もかも不慣れな実務面に対して、熱心にご指導頂いた、九州大学 吉田敬介先生や機械学会事務局の曾根原様に感謝致します。

日本機械学会技術と社会部門ニュースレター: <http://www.jsme.or.jp/tsd/news/index.html>

日本機械学会

技術と社会部門ニュースレターNo.31

(C)著作権:2014 一般社団法人日本機械学会 技術と社会部門